

2026-08-13

1. ローカルLLM Unsloth Desktop
2. ブラウザエージェント Claude in Chromeが端末をまたぐCoworkセッションへ進化
3. エージェント開発運用 VercelのAI SDK開発、エージェント工場がPR最大35%を担当

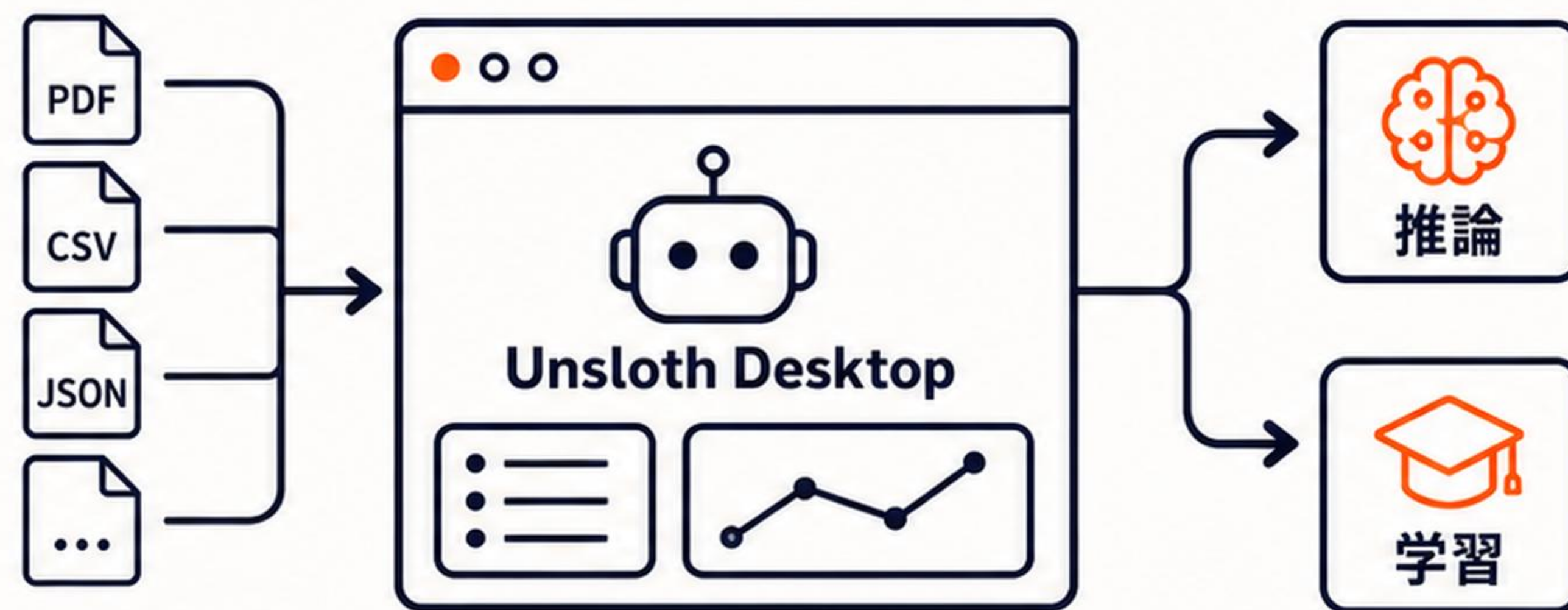
7トピック

ローカルLLM Unsloth Desktop

ローカルモデルの実行と学習をデスクトップアプリに統合

Unslothが、ローカルモデルの実行と学習を一つのデスクトップアプリにまとめた「Unsloth Desktop」を公開した。

- オープンソースでMac・Windows・Linuxに対応し、CPUとApple Siliconもサポート
- GGUF・MLX、画像／動画diffusion、音声モデルを扱える
- PDF・CSV・JSONなどからデータセットを作り、LoRA・FP8・FFT・継続事前学習をノーコードで実行できる

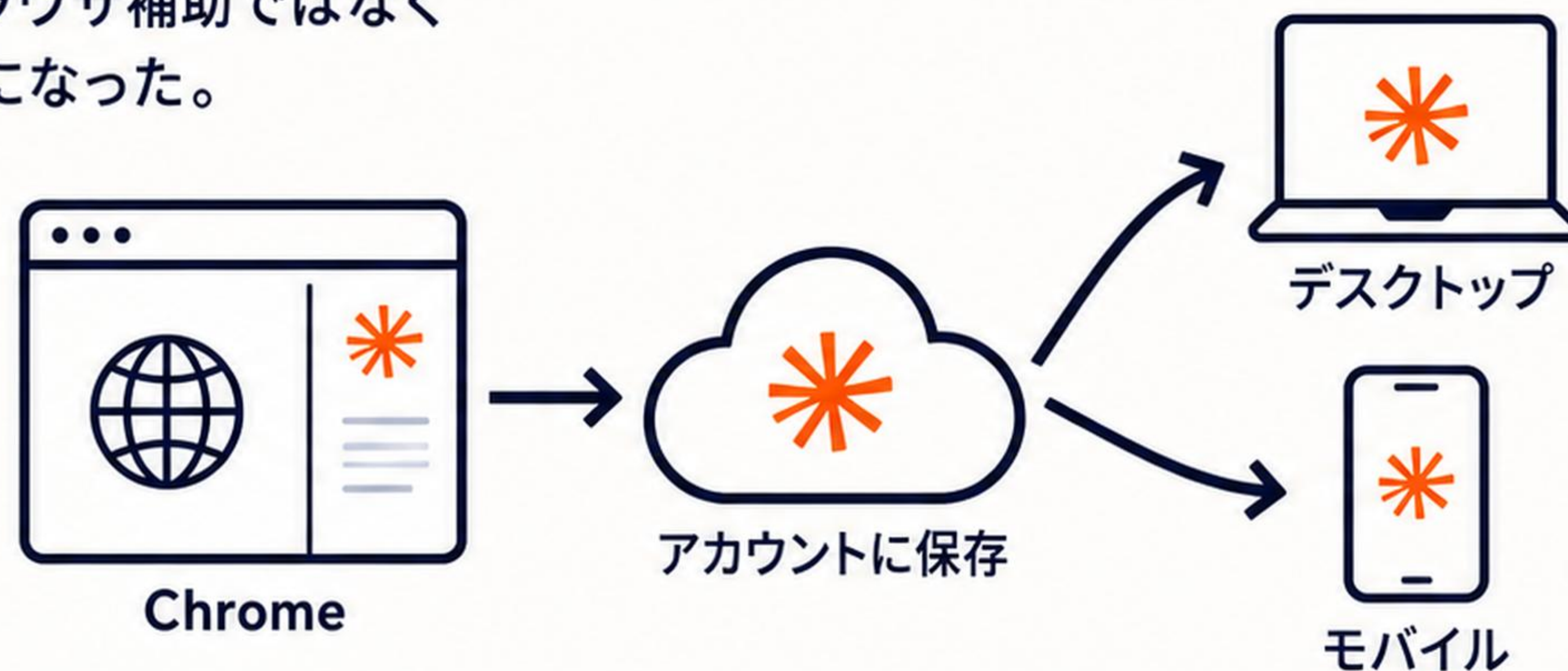


ローカルLLMの導入障壁がCLI設定からデスクトップ操作へ下がり、推論と学習が同じ入口にまとまる。

ブラウザエージェント Claude in Chromeが 端末をまたぐCoworkセッションへ進化

Claude in Chromeのサイドパネルが、単発のブラウザ補助ではなくフルのClaude Coworkセッションとして動くようになった。

- セッションは端末ではなくアカウントに保存され、Chromeからデスクトップやモバイルへ継続できる
- サイドパネルから既存のskills・plugins・connectorsを利用できる
- MaxとTeamで提供開始、Proは数週間以内に展開予定



ブラウザ操作が一回限りの拡張機能から、端末をまたいで続く業務セッションへ変わる。

エージェント開発運用 VercelのAI SDK開発、 エージェント工場がPR最大35%を担当

VercelはAI SDKのissue対応から変更作成までを工程別エージェントに分け、人間が最終的にmergeする「software factory」を構築した。

- issueの選定、調査、変更作成などの工程を独立したエージェントに分けている
- 生成した変更を直接本番へ入れず、人間のmergeを品質ゲートとして残している
- 運用4週間でmerge済みPRの最大35%を作成



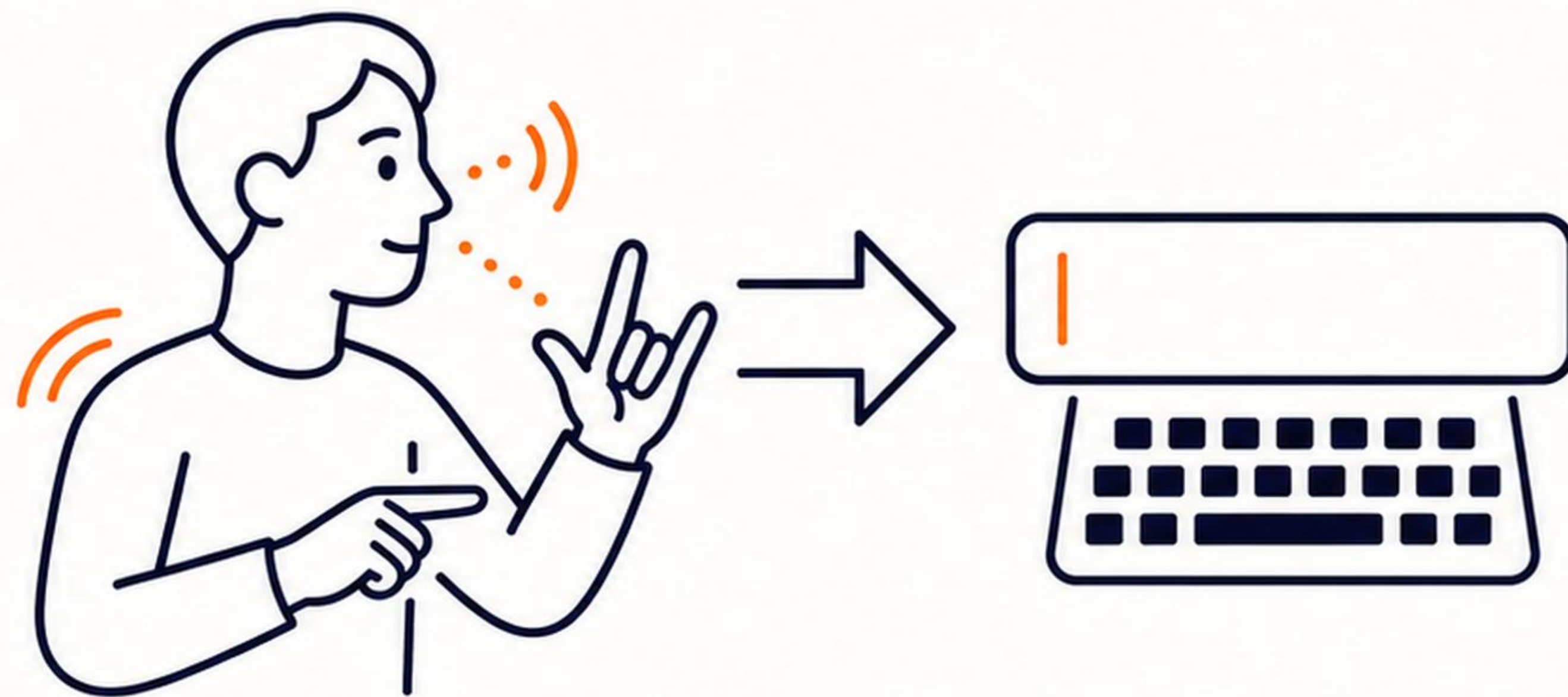
万能エージェント一体へ丸投げせず、工程分解と人間のmerge gateで運用する具体例になる。

アクセシビリティ Google DeepMind 「SL2T」

Pixel 11で手話を直接テキスト入力

Google DeepMindは、手・身体・顔の同時動作をテキストへ翻訳するsign language-to-textモデル「SL2T」を発表した。

- 最初の対応はASLから英語への翻訳
- GboardとLive Transcribeへ手話で直接入力できる
- 手だけでなく、身体と顔を含む同時動作を直接テキストへ変換する

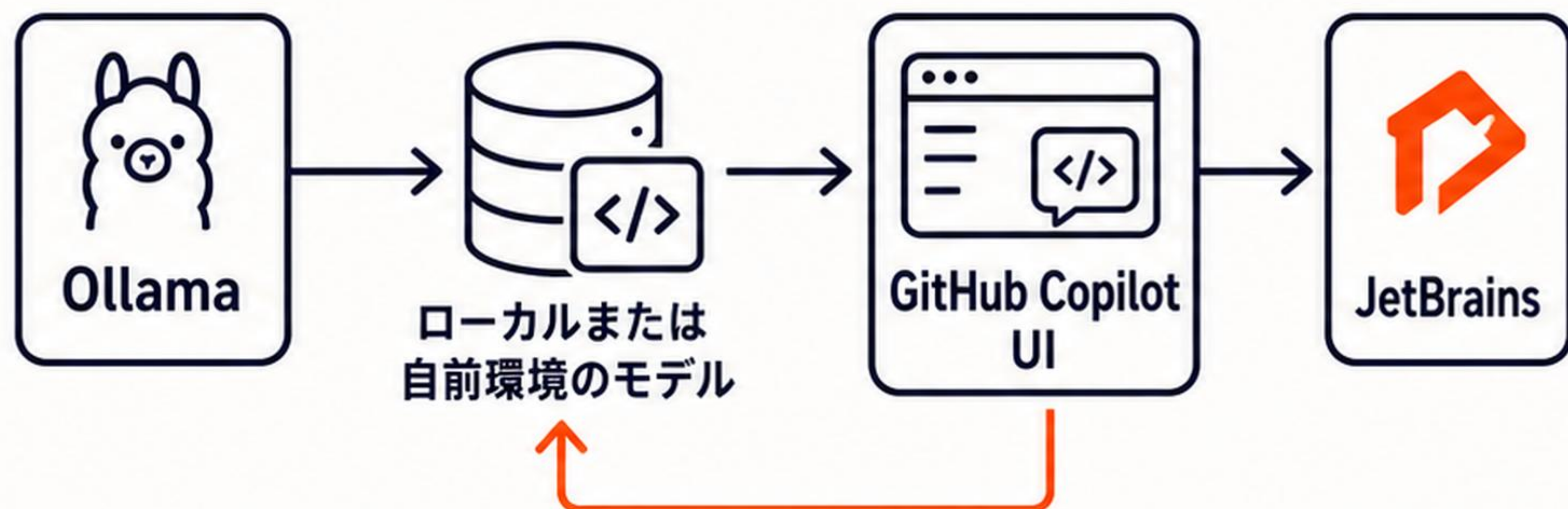


マルチモーダルAIが画像理解から、身体全体の時間的な言語表現を力UIへ変換する段階へ進んだ。

開発ツール Ollama が GitHub Copilot for JetBrains のモデルプロバイダーに対応

Ollama は、GitHub Copilot for JetBrains でモデルプロバイダーとして利用できるようになったと発表した。

- GitHub Copilot for JetBrains のモデルプロバイダーとして Ollama を選択可能
- ローカルまたは自前環境のモデルを Copilot の UI とエージェント導線から使える
- JetBrains 版 Copilot は OpenAI 互換 custom endpoint と BYOK を全 tier へ拡張済み

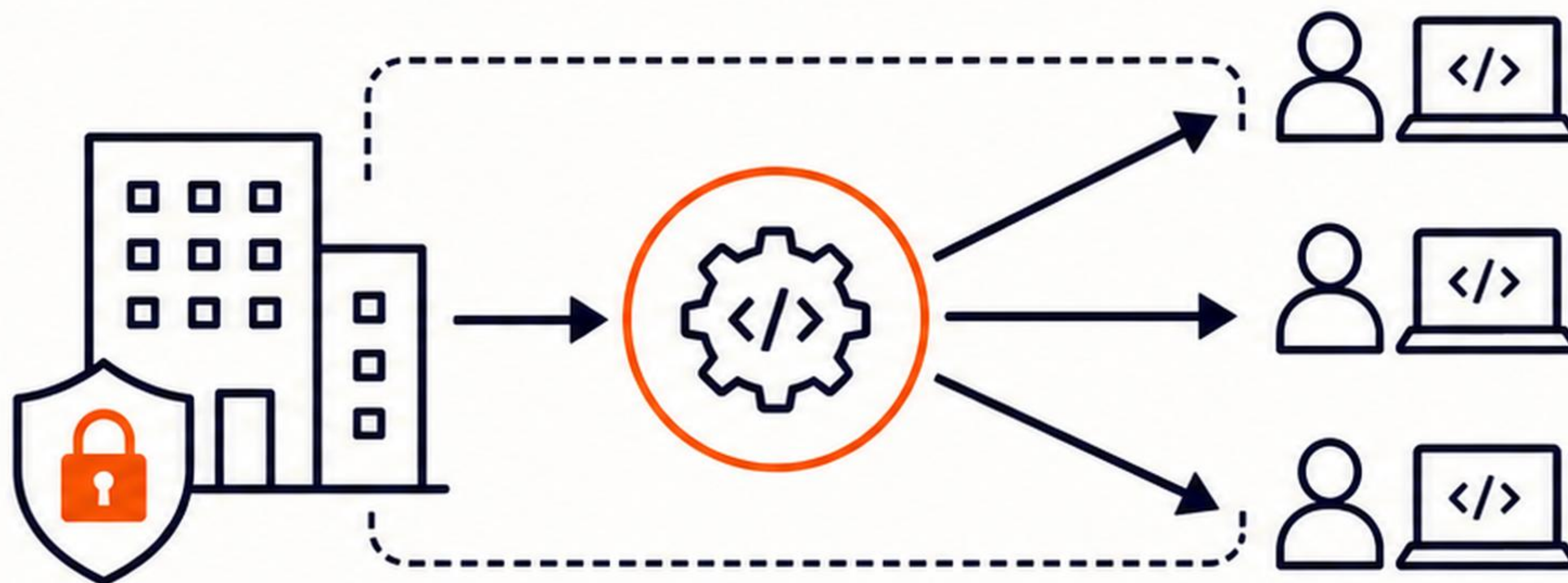


ローカルモデルと慣れた IDE のエージェント体験を両立しやすくなる。

セキュリティ・AIガバナンス メルカリのClaude Code安全導入 設定より「誰にどう配るか」

メルカリの「Claude Codeセキュリティ設定の組織配布戦略」を起点に、企業導入に必要な設定・配布・ガバナンスを整理した長文解説。

- `disableBypassPermissionsMode`で確認スキップの危険なモードを無効化する
- curl・wgetなどの外部通信、sudoやrm、.env・SSHキーへのアクセスをdeny/askで制限する
- sandboxで作業ディレクトリ外と未許可ネットワークへの到達を制限する



企業のAI導入は便利なツールを配るだけでは成立しない。

デザイン・UI/UX AI感を消すWebデザイン

画力より判断基準を渡す

AI生成サイトに出やすい似通った配色・角丸・余白を避ける方法を、11投稿のスレッドで具体化した実践整理。

- デジタル庁など既存デザインシステムの色・角丸・余白・タイポグラフィを移植する
- taste-skillなどでデザイン判断のパターンを与える
- Figmaで完成デザインを作り、その具体的な参照へ実装を寄せる



Vibe Codingでも、生成前にデザイン原則・参照物・ブランド固有素材を決めるだけで均質さを減らせる。

本日のトピック一覧

1. ローカルLLM Unsloth Desktop
2. ブラウザエージェント Claude in Chromeが端末をまたぐCoworkセッションへ進化
3. エージェント開発運用 VercelのAI SDK開発、エージェント工場がPR最大35%を担当
4. アクセシビリティ Google DeepMind「SL2T」
5. 開発ツール OllamaがGitHub Copilot for JetBrainsのモデルプロバイダーに対応
6. セキュリティ・AIガバナンス メルカリのClaude Code安全導入
7. デザイン・UI/UX AI感を消すWebデザイン